

4K時代の映像&編集講座

今年度の公開セミナーは、浜谷さんをお願いして7月27日(土)午後1時30分から5時まで、立川センタービルのNHK西東京営業センター会議室で行われました。参加者数は当クラブ会員14名、多摩地域の各クラブから25名、計39名でした。

今回のセミナーは、まず、現場からの体験的報告として、浜谷さんの作品を鑑賞しながら撮影と編集について勉強しました。



作品で振り返る

・NHK時代のレポート：

浜谷さんが報道カメラマンとして取材し、最初に全国放送となった作品を紹介。インタビューに重きを置いて積極的に取材したそうだ。その他何本かの作品を通して、三脚を据えての映像と、手持ちで肉薄する映像の両面が必要であると説明された。

かつて東北地方で砂利・砂を採取した水田は復旧不能となり、産業廃棄物が投げ込まれた。2年前の大震災の津波のあと、産廃水田がごろごろ出て来た。

・プロモーションビデオと舞台の作品：

アマチュアでも出来るマルチカメラの技術をATEMスイッチャーで収録した「すみだオペラ」ほかを上映して説明された。

アイリス(カメラの明るさ)の調節が問題。とくにロングが難しいので、ゼブラマークを顔に当てて75%とし、ピーキングも上手く使って、顔の白とびを防ぐ。フォーカス合わせは慎重に！

・hamaproの仕事：

かつて浜谷講習を受けた受講生が8人~10人のマルチカメラ態勢を組んでいる。映像制作プロダクションは金がかかる。NHKは0千万円のHDCAMのカメラ、こっちはHDVの数十万円だが、画質で劣りは気付かない程度。

「すみだオペラ」の撮影現場：4~8台のマルチカメラ、スイッチング収録、光ファイバーを使って映像を伝送できるカメラコンバーターは、10年前には数千万円のシステムが100万円以下で揃えることが出来る。

音楽会では吊りマイクの音を貰う。音は音源の近くから録る。また、舞台上に3個(バウンダリーマイク)、客席に向けて1個のマイクを設置した。

・映像と音声の基本再チェック：

ビデオとは？映像+音：インタビューの成否が重要。現場の音とインタビューを組み合わせる。音に掛ける



時間が多くなり、撮影・編集の様子が変わった。

「サクラ大戦奏組」の音をニコニコ動画の生を録画したものと、編集したものを比較。

カメラをどこに置くか（カメラ割り）を考える。

皆さんの作品では音がなおざりになっている。外部マイクは必要だ。

編集時、最大音量は-6dB と 0 の間、0 に限りなく近づける。-12、-20dB にすると安全だが、DVD にすると小さくなるので要注意。

撮像版が大きいほど映像は良いが、フォーカスが合わせにくい。感度と解像度を上げるには撮像版を大きくするしかない。

最近デジタル一眼レフが使われている。金が無い時、報道にはビデオカメラ、コマーシャルには一眼レフとなる。

テープからファイルベースへ

・アマチュアから放送局までの現状：

NHK は来年度以降、放送用にテープからファイルベースへ（HDCAM からソニーXDCAM へ）変更する予定（編集システムはプレニス）。ただし、カードメディアではなく、新開発のディスクメディアを採用する予定（現状の XDCAM はカードメディア）。撮影素材は 1 年間保存となっているため、カードメディアではコスト高となるため採用されなかった。

また、カードメディアは小さすぎて紛失しやすいことと、小さ過ぎるために撮影メモを記入できないという欠点があるため、ケース付きのディスクを採用することになったらしい。

現在のHDカメラは2Kで、4Kは画素数が4倍になる。HDは1280x720以上、フルHDは1920x1080なので2Kと呼ばれる。それに対して4Kと呼ばれる次世代のハイビジョン方式は3840x2160。

ウェアラブルカメラ：小型で、スポーツ時に頭や身体に付けて撮れる。GoProは4万円程度で視度が高い。Wi-Fiと組み合わせて、撮った画像を送れる。

ウェアラブルカメラはソニーとGoProが画質が良い。小型カメラでもアイリスその他をしっかりと設定すること。

現場で撮影しながら覚えると上達する。手、足、頭を動かしてビデオをやっていれば大丈夫！

・参加者の感想など

NHK など放送業界の動向がわかり、とてもよかった。

次期編集ソフトのお話は、大変貴重なものでした。

ウェアラブルカメラは、是非導入したいと思った。

家族が逃げずに誰からも見てもらえて、前の作品を越えることを目指したい（見てもらってナンボ）。

森 仁史さんに感謝！

森さんは 5 年間に亘りボランティアで例会にお出でくださり、つたない会員の作品について暖かい愛情を持って親しくアドバイス頂きました。会員一同心から感謝しております。

森さんの今後ますますのご発展をお祈りいたします。

9月例会のお知らせ

9月28日（土）13：30～17：00

あとひと月後には酷暑も収まることでしょう。例会出席者数が減少しているので、作品発表を頑張りましょう！欠席の場合も作品を渡辺に届けて頂ければ例会でアドバイスを受られますので、どうぞ！